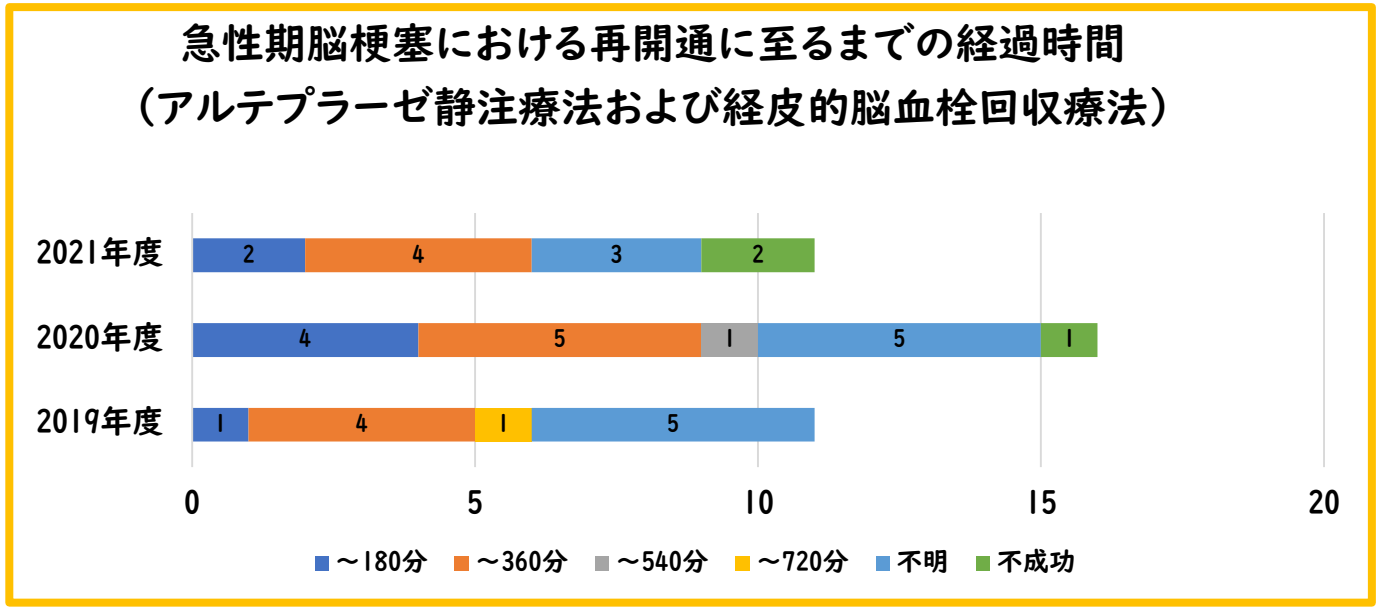
19　急性期脳梗塞における再開通に至るまでの経過時間（アルテプラーゼ静注療法および経皮的脳血栓回収療法）

脳神経外科

◆解説◆

急性期脳梗塞では、脳梗塞発症からいかに早い段階で治療できるかが重要です。不可逆性の脳組織壊死が進む前に出来るだけ早く血管を再開通させる事が必要であり、脳卒中センターに求められる重要な基準の一つです。

◆当院の実績◆



◆自己点検評価◆

再開通までの時間が短くはなっていますが、まだ6時間以上経過しているものも多く、多職種連携も踏まえた、さらなる時間短縮の努力が必要と考えます。

また全国に比べ、施行数も少ないことから急性期脳卒中の早期発見・治療の啓蒙も必要と考えます。

◆定義◆

1．発症時間から病院到着時間　2．病院到着時間からrt-PA投与までの時間
3．病院到着時間から穿刺(カテーテル刺入)まで　4．発症から再開通までの時間の合計を抽出